

<3>小論文について（時間：80分 字数制限なし）

小論文では与えられたテーマ（出題例参照）について自分なりに考え、それを文章にまとめることが必要です。ふだんから、音楽や音楽教育の諸問題とその背景にある社会や文化に関心を持って積極的に本や新聞を読むことを心がけてください。また歌唱や楽器演奏、さまざまな音楽の鑑賞に取り組んで、音楽体験を豊かにすることも大切です。そして、出題例を参考にさまざまなテーマで文章を書いてみましょう。多くの文章を書くうちに、どうすれば自分の考えをうまくまとめることができるのか、どのように書けば自分の考えをうまく他者に伝えることができるのか、ということがわかってきます。

[平成28年度出題例]

- ・「音楽の授業の中で、創作の授業は必要か」
- ・ひとつの楽器を取り上げて、その楽器による音楽表現の性格について、他の楽器との比較も交えて論じなさい。

<4>作曲について

与えられたモチーフから1題を選択してください。限られた時間内で、最も自己表現できる楽器編成を使い、選択したモチーフを展開させて、ひとつの作品にまとめあげてください。音符や休符などを用いて、言葉では表すことのできない心の表現に挑戦してください。世界にひとつしかない作品を創作してみましょう。（試験当日はクラビノーバを使用することができます。）

[平成28年度出題例]

次のモチーフ(1)(2)のいずれか一題を選択し、器楽曲を完成させなさい。

（楽器編成、形式、長さなどは自由とする。）（試験時間 120分）

(1) *Allegro moderato*

mf

(2) *Moderato cantabile*

mp